

あとがき

去年の年末に核データセンターの計算機のネットワークを 10Mbps のものから 100Mbps に更新した。10Mbps のときは同じサブネットに数百台の計算機がつながっていて非常に混雑していたのだが、それは改善されたようにおもう。核データセンターの WWW サーバーにアクセスする人たちはレスポンスが向上したのではないだろうか。しかし今のところ問題が無い訳ではない。100Mbps のネットワークにつなげているスイッチングハブが頻繁にハングアップしてしまいたびたびネットワークが不通になる。近いうちにこの問題を解決したいのだが、今のところ原因がわからず困っている。平日の昼間はすぐ気づいてハングアップしたスイッチをリセットするのだが、夜間や休日に人がいないときはハングアップしたままになってしまい、外からつながらなくなることもある。核データセンターの WWW サーバーは深夜も海外等からアクセスされることが多いので、早いうちに手をうちたい。私が学生だったころはまだネットワークが整備されてなく、それでも不便は感じなかったのだが、ネットワークの環境になれてしまうと、ネットワークが不通な状況がとても不便になってしまう。

* 今号から編集長が中川さんに戻りました。

岩本 修

iwamoto@cracker.tokai.jaeri.go.jp

核データニュース編集委員会

中川 庸雄(委員長、原研)、井頭 政之(東工大)、岩本 修(原研)、喜多尾 憲助(データ工学)、高田 弘(原研)、長谷川 明(原研)、吉田 正(武蔵工大)